



## 仲間たちと楽しくスポーツ

町高齢者スポーツ大会で汗を流す



各地区を代表して「豚追い競走」に挑む参加者ら

町高齢者スポーツ大会は6月11日、カメリーナで開催されました。町と町老人クラブ連合会が主催するこの大会には、町内6地区から約300人が出場、各地区の参加者から仲間に対する声援が上がり、カメリーナ中に響き渡りました。

参加者らは、1人のモデルをみんなで着替えさせる「ファッションショー」、キンボールという大玉を転がす「キン転がし」やラグビーボールを棒で転がして進む「豚追い競走」など12種目に挑み、仲間たちと一緒に心地よい汗を流しました。

なお、大会は翁島地区の優勝で幕を閉じました。

## 没後500年を記念して句碑

小平潟で猪苗代兼載の句碑除幕式



関係者らが除幕して句碑の建立を祝いました

猪苗代兼載の没後500年を記念した句碑の除幕式は6月6日、小平潟地区(佐瀬憲一<sup>けんいち</sup>区長)の小平潟天満宮で挙行されました。同地区では「猪苗代兼載の里づくり活性化」事業を進めており、句碑はその一環として建立されたものです。

黒御影石を使用した句碑は高さ105センチ、幅90センチ、厚さ15センチ。上部は磐梯山をかたどった山型で、土台には磐梯石を使用、兼載の姿と「山は雪 海は氷を かがみかな」の文字が刻まれています。

佐瀬区長は「兼載の功績をたたえとともに、地域の偉人の偉業を子どもたちに伝えていきたい」と話しました。

## 「雨ニモマケズ」全力尽くす

町民マラソン大会に健脚自慢集う



激しい雨の中、リレーマラソンに挑む選手ら

22年度町民マラソン大会は6月27日、町運動公園で開催され、小・中学生を中心に約500人が、23クラスで健脚を競いました。レースは、あいにくの雨模様となりましたが、参加者たちは力強い足取りでコースを駆け抜けました。

人気種目の親子競争やリレーマラソンには88組が参加。子どもと大人が入り交ったのマッチレースに、応援に訪れた家族などから盛んに声援が飛びました。

また、会場では、町食生活改善推進委員らにより豚汁が振る舞われ、雨にぬれた選手や応援に訪れた家族らの体を温めました。

## 舞台上映えるメイクを学ぶ

町舞踊協会が舞台化粧講習会開催



真剣なまなざしで講習に臨む参加者ら

町舞踊協会(若柳和香<sup>わかくさ</sup>会長)が主催する舞台化粧講習会は6月11日、町体験交流館で開催されました。講習会は、自分の手で本格的な舞台化粧ができるようになるため、会員らが自ら企画したもので、今回が初めての開催。講師に三善メイクアップ研究所の市川明日香<sup>あすか</sup>さんを招き、下地の作り方など、舞台化粧を基本から学びました。

町内の日本舞踊4流派から参加した約30人は、メモを取ったり、質問をしたりしながら、真剣なまなざしでプロの化粧技術を学びました。

## 広報猪苗代が全コンで入選

本町の広報紙では初の全国入賞



入賞した12月号の表紙(右)と記事

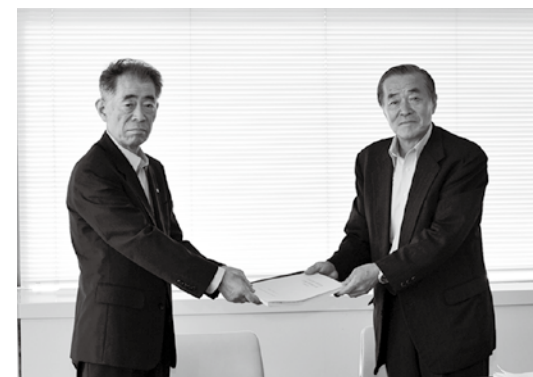
先月号の編集後記で少しお知らせしましたが、日本広報協会主催の全国広報コンクール広報紙(町村部)部門で、「広報猪苗代2009年12月号」が入選しました。この号の特集は「そばでのまちづくり」の歩みを振り返ったものでした。

審査員には、「新しいまちづくりへの意気込みを感じる」「全体にスッキリとしたデザイン・レイアウト」「文字の使い分けが気になる」「締め言葉をもとめ過ぎ」などの講評をいただきました。

これからも1人でも多くの皆さんに読んでもらえるよう、この町ならではの広報紙づくりを目指して頑張ります。

## 評価委が最終報告書を提出

町振興公社などへの提言まとめる



長谷川委員長(右)から最終報告書を受け取る津金町長

町が出資、出えんしている法人6社について点検・評価してきた町公社等外郭団体点検評価委員会(長谷川与一<sup>よいち</sup>委員長)は6月25日、津金要雄町長に最終報告書を提出しました。

報告書では、町振興公社について「町の将来的な財政負担を考慮しつつ、存続、解散などの抜本的な改革を」、まちづくり猪苗代については「多方面への事業拡大に向けた経営戦略の見直しを」などと指摘。津金町長は「皆さんの2年間にわたっての努力と尽力に感謝します。報告書を十分に読んで、今後の各社への対応を検討したい」とお礼の言葉を述べました。